

業績リスト(過去3年)

* (1. 著書	2. 論文)	3. 訳書	4. 研究ノート	5. 書評
6. 調査報告書	7. その他文筆活動	8. 作品発表	9. 学会発表	10. 講義・講演
11. テレビ・ラジオ等出演	12. 公的活動	13. 研究助成採択	14. その他	

* (1. 著書 2. 論文)は別途掲載

野田 哲朗 (のだ てつろう) [心理学科 特任教授]

2023年

5. 書評

- ・松本俊彦編. 『アディクションの地平線 ― 越境し交錯するケア』. トラウマティック・ストレス. 2023;21(1):55.

2022年

9. 学会発表

- ・野田哲朗. シンポジウム2 ハームリダクション-依存症治療の転換-刑罰より治療を. 第65回日本病院・地域精神医学会総会. 京都府. 2022年12月10日
- ・永浦拓, 藤田益伸, 堤俊彦, 野田哲朗. GDS-Jを用いた小中学生のゲーム依存傾向の実態調査 校種による違いに着目して. 日本アルコール・薬物医学会雑誌. 2022;7(4):228. 仙台市. 2022年9月

2021年

9. 学会発表

- ・野田哲朗, 堤俊彦, 永浦拓, 藤田益伸. コロナ禍における学生の嗜癖行動習慣の変化と逆境的小児期体験の影響. 日本アルコール・薬物医学会雑誌. 2021年12月. 2021;56(6):251-251
- ・永浦拓, 藤田益伸, 堤俊彦, 野田哲朗, 中西愛, 富美司. コロナ禍における大学生のゲーム依存傾向と関連要因経時的変化に着目して. 日本アルコール・薬物医学会雑誌. 三重県. 2021年12月. 2021;56(6):254-254.
- ・永浦拓, 藤田益伸, 堤俊彦, 野田哲朗, 中西愛, 富美司. コロナ禍における大学生のゲーム依存傾向と関連要因経時的変化に着目して. 日本アルコール・薬物医学会雑誌. 三重県. 2021年12月. 2021;56(6):254-254.
- ・野田哲朗, 黒岡紀久子, 辻本土郎. AlcoholisAnonymousに参加してPTSD症状が改善した1例. 日本アルコール・薬物医学会雑誌. 三重県. 2021年12月. 2021;56(6):270-270.
- ・永浦拓, 藤田益伸, 堤俊彦, 野田哲朗, 浅尾祐亮, 松田彩音, 大西怜香, 中西愛, 富美司. COVID-19と大学生のメンタルヘルスストレスおよび生活習慣の経時的変化. 全国大学保健管理研究集会プログラム・抄録集. 広島県. 2021年10月. 2021;59回:83-83.